

利ボに來合 は音いか何のい う支に おめ失大てをたがまのー頃
 擁力あ、うーもの人。をでを本の援考一許、念事ま参。的しー支と初
 護シリ人中自つ声たこ考し抱人だをえ支しご致ない考今確たと援な秋
 ーしま間か由べをちとえよいたる受る援く紹し先りに回な。題者りに
 のへすのらーき聴のばてうてちうけ主をだ介ま生ましは論厳すにま入
 団当。本生はでく思でいか今はーる語すさでしのすなそ議する求しり
 休事セ質ま相す感いはる。をどで本はるいきたお。がのにい文めた涼
 で者ルはれ互。度を伝の何生のす人ー。な。名へら先脱内面ら。風
 あの前まに を、えでをきよ。は今時しいそ前お筆生帽容にれ先が
 る自・自す尊 支そらし見てう ど、に このを詫をのしで出る般恋
 ピ己ア由。重 援のれよていな うこ、 とた私び進趣まし会も、し
 一権ドー元し 者無なう、る思 思の常 を、。め旨したい い



社会福祉法人こころの窓
 理事長 浦郷 津留子

本人はどうおもっているのだろうか
 関わる人(支援者)にもとめられるもの

人設 いとわ ⑥ ⑤④③ ②①者私まい。目こ用目係 ばけてきらまがるいブ
 たのこうでり支私願私私私こ私私し せ??なにと者を作本なた理づぎせい。者ル
 ち歴れこ利と援のいががへとがの支んあにすがのとりにり支解らるんにーで・
 が史まと用振者未や受やの、嬉不す援ねなつぐで笑じがのま援しさを。鍵とあフ
 適はでが者りの来要けり援快し安。を。た!にき顔て必思せに、を得不を宣るア
 切重知実が返感へ望てた助といや 受 はす応まを下要いん心自真な自掛言前ー
 な度的現ーり受の いいや感こ悲 ける 失ぐ答す思さでを。を由撃い由けしにス
 ーと障し見を性夢 るこ願じとし 格にでかいす実 配なに人なるま入ト
 指呼がまえ続豊や 医と望る、み 人 か浮き。浮。現 ら行受た行事し間は
 導ばいするけか願 療や こ楽 (もかま次か担一す な動けち動はたでー
 ・れ者。ーるない へ願 とし 利 しばすのべ当度る けに止のに出。あ障
 援る施 とこ関 のい い 用 れなか項る利、関 れ向め生な来障 が

い知に人サリ器が常実がにもき力る 存に要と面しメ助
 うるパよツま量求にを協励の、を側福在はでのをてー
 の人スリカせはめ自導同まー内合が祉が利す関豊きジを
 とにをもしん自ら己き性しだ実わーは必用。係かま表受
 (同な送ーで。られ革出で合とをせ同提要者利をにし出け
 浦義つるシは例磨ま新すすい考作てじ供でに用深実たすて
 郷語てこユシえかすし意。成えりと方すす寄者めら。る感
 でほとーユるな。て思支長ま上も向る。りのるせ利こ情
 津すしのトーなけあいを援すすげにを側 添自援る用と交
 留。い喜すトられなくも者る。て今向と う己助、者を流
 子ーびるす、ばたこつは関相いをい受 人決が他の実や
)とを入る なのとて真係互く生てけ の定必者内証イ



社会福祉法人こころの窓 事業概要

- 青い鳥 就労継続支援事業B型 定員30名
- ヴァイラージュあゆみ 生活介護事業 定員70名
- ヴァイラージュあまね グループホーム(共同生活援助事業) 10ヶ所
- ショートステイあかね ショートステイ(短期入所事業) 定員12名
- 相談支援事業所 青い鳥 相談支援事業
- 青い鳥初芝教室 児童発達支援事業・放課後等デイサービス 定員10名
- ショップ青い鳥

KoKoRo no MaDo

Social Welfare Organization

理念

- 愛と英智で 人に添い
- 愛と英智で 事に当たり
- 愛と英智で ともに生きる

相談支援事業所青い鳥が移転オープンしました!

相談支援事業所青い鳥が開所し、早や3年半を迎えています。おかげさまで相談ニーズが高まる中、事業所の場所が分かり難いとの要望を多く頂きました。この度、平成28年6月より青い鳥正門横のショップ青い鳥(喫茶部門)を見直し、相談支援事業所青い鳥を移転開設致しました。

各福祉サービスの入り口に立つといった計画相談のイメージに合致すべく、障害福祉サービス事業所青い鳥の正門入口に位置し、独立性を保つといった公共性の観点から、施設から独立した建物で、公平・中立の立場から、透明性の象徴として、ガラス張りの事務所となっています。(いささかこじつけではありますが。笑)

現在、相談支援事業の過渡期として、自前対応に特化しておりますが、将来は地域に開かれた、信頼される地域生活の拠り所としての機能発揮を目指しております。

(相談支援事業所青い鳥 管理者:増淵一郎)

裏面にて相談支援事業の事業紹介をしています



SHOP AOITORI リニューアルオープン!!

相談支援事業の移転に伴い、一時休業をしていた「ショップ青い鳥」ですが、装いも新たにリニューアルをしてオープンいたしました。

規模は少し小さくなりましたが、店内では、6席のイートインスペースを設けており、今や青い鳥の製菓商品の代名詞となった「ホワイトチーズケーキ」をはじめ、クッキーやパウンドケーキなど数々のお菓子は以前と変わらず購入することができます。また、淹れたてコーヒーやジュースなども販売しております。

ご来店、お待ちしております!

グループホーム事業の推進にご協力ください

社会福祉法人こころの窓は新しいグループホームの整備を積極的に進めて参ります。皆様のお力添えをお願い致します。

ただいま、こころの窓では、本部施設付近でグループホームとしてお貸いただける空家屋の情報を集めています。利用定員は4~5名程度を想定しています。ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

グループホームは障がいのある方々が地域で暮らし続けるために欠かせない社会資源です。しかし、現実にはホームに適した物件を確保することは容易ではありません。消防法の改正でスプリンクラーの設置も必要となります。下記の条件を満たしそうな(賃貸)物件について、何らかお持ちの情報がございましたら、是非、法人本部までお知らせください。(TEL072-286-2260)

- ①4LDK~5LDK程度の間取り(建築基準法上の制約があるため2階建て以下の物件を想定しています。)、または、隣接した3LDK程度の間取りの家屋2棟。
- ②スプリンクラーの設置他、リフォームの相談に応じていただける物件。
※リフォーム費用は当法人が負担いたします。
- ③送迎車両に乗降できる場所があり、施設までの送迎ルートとなる道路の道幅が狭小でない。
- ④本部施設青い鳥から車で15分程度の圏内。

あわせましてグループホーム事業に対する資金面でのご協力も是非、お願い申し上げます。

寄付金の振込先

- ◇(口座記号) 00920-8 (口座番号) 235259
- ◇(名義) 社会福祉法人こころの窓
 フク)ココロノマド

◆◆ご寄付は本部事務局でも承ります。また、賛助会費用の別紙払込取扱票もご利用頂けます。◆◆

●機関紙名の由来について
 機関紙の名称「ココロ・ノマド」は、ココロとノマドに由来しています。ココロはその字のとおり「心」です。ノマド(nomad)は「遊牧民」という意味の英単語です。ココロ・ノマドというネーミングとロゴマークには、「わたしたち皆が、お互いに物理的、制度的、心理的な様々なバリア(障壁)から解き放たれた、心の豊かな自由の民でありたい」という願いが込められています。

今日も健康

ジメッとした日本の夏。この湿度の高い暑さは、とても不快で体調を崩しがちです。このような症状に心当たりはありませんか？

- ・全身の疲労感
- ・食欲不振
- ・無気力
- ・立ちくらみ
- ・熱っぽい
- ・よくイライラする
- ・下痢や便秘
- ・むくみ

このような症状がみられるかたはご注意ください！ ひよっとしたら…**夏バテ！??**

軽く見られそうな夏バテですが身体の中は…

- ① 脱水症状……体内の水分、ミネラル不足が原因
- ② 栄養不足……暑さにより食欲が低下することが原因
- ③ 自律神経失調症……暑さと冷え(エアコンによる)の繰り返しが原因

心身ともに不調に陥る夏バテ。自律神経は全身の機能に影響を及ぼしますのでご注意ください！！

(看護師: 谷口 裕子)

COOKMADO

スタミナをつけて疲労回復！！

胃腸の負担を極力避け、必要な栄養素(特にたんぱく質、ビタミン、ミネラル)を摂ることが大事です！そこで今回ご紹介するのは…

豚肉のソテー グレープフルーツソース

です。(^^)/

材料

- 豚ロース 1枚
- 塩・こしょう 少々
- バター 8g
- にんにく(みじん切り) 少々
- 白ワイン 10cc
- グレープフルーツの汁 10cc

グレープフルーツの酸味でさっぱりソースは夏にぴったりです！作り方は、豚ロースに塩、こしょうで焼きます(火が入りすぎると固くなるので注意が必要！)。焼いたお肉をお皿に移し、フライパンについている余分な油をキッチンペーパーで拭いたら、同じフライパンでソースを作ります。バターを入れ、にんにくを炒め、白ワインを入れてソースがトロツとしてきたら火を止めて別の容器に移します。そこにグレープフルーツの汁を加えます。ソースを焼いたお肉にかければ完成です！付け合わせには、ビタミンCがしっかり摂れるかぼちゃやグリーンアスパラのソテーがおすすめです☆

(管理栄養士: 磯部 啓子)

事業紹介

今回ご紹介させて頂く社会福祉法人こころの窓の事業は『相談支援事業』です。相談支援事業所青い鳥では、「特定相談支援・障害児相談支援」を行っております。平成28年6月に障害福祉サービス事業所青い鳥の正門入口横にあるショップ青い鳥内に移転オープンしました！

「特定相談支援・障害児相談支援」とは、「サービス等利用計画」の作成を行う事業です。障害者総合支援法の改正により、2012年4月から、障害福祉サービスと児童福祉通所の利用を申請するときには、「サービス等利用計画」を作成することが必要となりました。サービスの申請・更新、サービスの支給量や内容が変わる際に当計画書が必要となります。また、障がい者(児)の福祉に関する様々な問題について、障がい者(児)等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援などを行うほか、権利擁護のために必要な援助も行います。

サービス等利用計画ってなに？



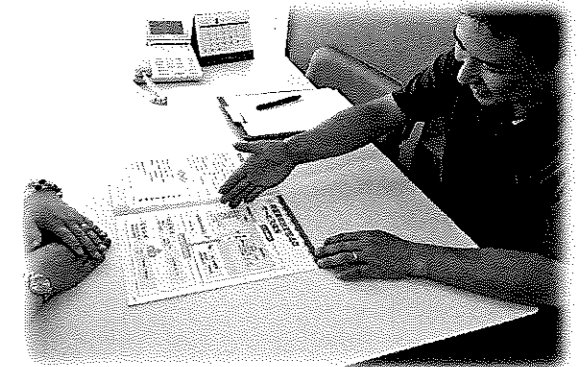
障害福祉サービスを利用するにあたり本人の目標や支援の方針などを決め、本人やご家族が希望する生活の実現にむけて作る計画です。また、障害福祉サービスが適切に提供されているかなどを確認し、利用計画の定期的な見直しも行います。
※ご自身やご家族が計画(セルフプラン)を作成し、市へ提出することも出来ます。



利用者の強みや能力に着目した本人中心の利用計画の作成、利用者の立場に立って親切丁寧な説明と理解を得ることを旨として安心と信頼を創出し、一方的な援助関係ではなく、寄り添い、ともに生きるパートナーを目指します。
(相談支援専門員 石井啓史)

どんな些細な事でも、お気軽にご相談ください！！

〈お問い合わせ先〉
相談支援事業所青い鳥
大阪府堺市東区日置荘西町8-1-7
TEL 072-286-2260
FAX 072-286-2268



堺の車窓から No.3

開業当時の駅名は「初芝」ではなかったって知ってますか！？

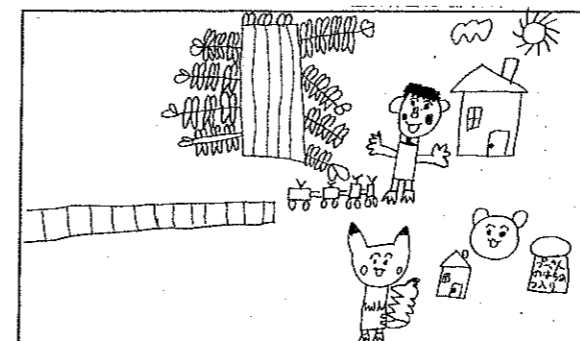
実は明治31年3月に開業したときは「西村駅」という駅名だったそうです。昭和10年、南海鉄道が西村駅前の土地で住宅経営を企画した際に、新住宅地のPRとイメージチェンジを図るために駅名を変更したそうです。平成27年度の1日平均乗降人員は17,029人、南海全線のなかで18番目に平均乗降人員が多い駅でした。

初芝駅の近くには、青い鳥で行われるお正月イベントの初詣にはかかせない出雲大社大阪分祠があります。出雲大社は縁結び・悪因縁解除などに御利益のある神社として有名ですが、出雲大社大阪分祠は中でも筆頭に上げられる、縁結び神社です。地元では「初芝さん」の名で親しまれています。

人と人の縁を深めたり、良き出会いがありますように！本機関紙と読者様のご縁もすでにご利益なのかもしれませんね、感謝です！！



アーティスト・ノマド ①



中村 里加さん

青い鳥(就労継続支援B型事業)所属

アーティスト・ノマド ②



江邊 貴子さん

青い鳥(生活介護事業)所属